

# 中学校建設問題や少子 介護保険

## 少子化対策

さらには交通安全教室などで啓発物資の配布等を行いながら、シートベルトの着用とあわせてチャイルドシート義務化の徹底指導を行なってまいりたい。②チャイルドシート購入の際の補助金等については、すぐに対応するとは明言できないが、今後検討していきたいと考えている。

**問** 国の補正予算として可決成立した少子化対策臨時特例交付金について、当町での対応を伺いたい。

**答** 少子化対策の一環として、当町でも、平成10年度から第2保育所で早朝と夕方の延長保育を実施しているところであるが、このような中、今年の7月に国の緊急対策の一つとして、少子化対策臨時特例交付金事業が実施されることになった。この交付金は、保育所待機児童の解消をはじめ、地域の実情に応じた市町村が実施する少子化対策の呼び水として、効果的な創意工夫ある保育や教育等に、単年度限りの特別措置として実施されるものであり、町としても、保育所を担当している保健福祉課を中心に、関係各課によって各種の検討をしてまいったところである。今議会でも、各保育所やまさご幼稚園内の遊具の整備

などを一般会計補正予算に計上したところであり、更に、健康福祉センター「プラム」内に、母親学級を中心とする授乳コーナーや乳幼児が遊べるようなスペースの確保、母子保健推進車等の購入をしてまいりたいとも考えている。また、外部的には、栗山南部一地区に児童遊園の整備等を行いたいと考え、現在、地区のみなさんと話し合いを進



**問** 介護保険のスタートを目前に、全国の各自治体では基礎整備の遅れや財政問題、保険料や利用料、認定問題を含め多くの不安材料を抱えているようだが、当町での現状は。

## 介護保険制度

**答** この事業は初めての事業であり、また、多くの皆さんを対象とする事業でもあるので、全く不安がないとは言いがたいが、一生懸命努力しながら、それらの問題点を一つでも少なくするよう今努力しているところである。特に、ホームヘルプサービスやデイサービスなどの提供基盤整備については、被保険者となられる方々のニーズに答えられるよう、現在、いろいろな角度から情報を収集しながら対応策を講じているところであり、介護型の医療施設、いわゆる療養型病床を東陽病院内に建設することも検討中である。みなさんが最も関心のある第1号被保険者の保険料については、介護サービスの水準により市町村ごとで額が異なることになるが、今後、介護保険事業計画作成委員会において検討願うことになっており、その結果等を踏まえながら正式な保険料の算定に入りたいと考えている。更に、利用対象者やサービス利用料等については、介護保険制度のバランスや整合性を考慮しながら、利用料の減免や助成制度を含め、検討してまいりたいと考えている。また、介護保険がスタートすることによって、現在行われている福祉施策の低下を招かないよう十分注意したいと思っている。

子どもたちの育てやすい環境づくりをめざし